

令和元年度 やまなし エコ通勤・エコ通学 トライアルウィーク 実施状況



1. 参加申し込み状況

申し込みと現在の通勤状況

申し込み	従業員数	マイカー通勤
20	7,592	4,362

- ・エコ通勤トライアルウィークへの参加申し込みのあった事業所数は20事業所。
- ・参加事業所に勤務する7,592人のうち4,362人(57.5%)が現在マイカーで通勤。

ステップ1 エコ通勤PR取り組み状況

メール等	掲示等	会議等	個別	その他
14	30	10	13	3

- ・PRの方法は、各事業所で、効果的な方法を選択してもらい、内訳は

「メール・イントラネットなどで案内」	14事業所
「掲示物・職場内回覧などで周知」	30事業所
「会議・朝礼などで呼びかけ」	10事業所
「マイカー通勤者に個別に働きかけ」	13事業所
その他（担当職員が各課等を訪問し呼びかけ）	3事業所

ステップ2 エコ通勤転換予定者数

徒歩	自転車	公共交通	その他	計
111	136	130	89	466

- ・期間中は参加事業所のマイカー通勤者4,362人のうち、466人(10.7%)がエコ通勤にチャレンジする予定。

- ・エコ通勤の種別ごとの転換者数は

「徒歩通勤にチャレンジ」	111人(23.8%)
「自転車通勤にチャレンジ」	136人(29.2%)
「公共交通通勤にチャレンジ」	130人(27.9%)
「その他のエコ通勤にチャレンジ」	89人(19.1%)
- ・「その他のエコ通勤」の89人は「マイカーによる乗り合わせ通勤」を実施予定。

ステップ3 ワンコインエコチケット配布数

チケット計	実人数
975	251

- ・配布対象者別内訳

	チケット	実人数
公共交通にチャレンジ	703	114
自転車通勤にチャレンジ	272	136
計	975	250

・昨年度に引き続き、自転車通勤にチャレンジする方に雨天対応用として1日分のエコチケットを配布。

期間中、1乗車100円で路線バスを利用可能な「ワンコインエコチケット」の配付枚数は975枚。

うち、バス通勤にチャレンジする方の分が703枚、自転車通勤にチャレンジする方の雨天のバス対応分が272枚

・エコチケットを配付する実人数は250人で、うちバス通勤にチャレンジする者が114名、自転車通勤にチャレンジする方が136名

2. 期間中の取り組み状況

バス事業者からのエコチケット利用状況

3月2日	19
3月3日	27
3月4日	35
3月5日	46
3月6日	29
3月7日	21
3月8日	13
合計	190

・期間中のワンコインエコチケットの利用数は190枚で、配付数975枚の19.5%。

・エコチケット利用率が低かったが、自転車通勤にチャレンジする方に一日分配布したチケットが利用されなかったことが大きな要因と考えられる。

参加事業所からの実績報告

	徒歩	自転車	公共交通	その他	計
3月2日	75	97	15	79	266
3月3日	80	119	47	72	318
3月4日	84	97	40	80	301
3月5日	78	112	44	72	306
3月6日	83	106	38	82	309
3月7日	7	21	2	6	36
3月8日	6	21	2	2	31
合計	413	573	188	393	1,567

・期間中にエコ通勤に取り組んだと報告のあったのは延べ1,567回。

・参加申し込みのあった466人が、期間中に平均3.4回のエコ通勤を実施した。

参加者からの代表的な意見

○肯定的な感想

- ・自宅から職場へのバス路線を知ることが出来た。
- ・考えていたより、気軽にバスを利用することが出来た。
- ・マイカー運転するより、楽ということが分かった。(バス)
- ・バスコンシェルジュは、バスの位置情報が確認でき、便利であった。
- ・健康管理の観点から、可能な限り自転車・徒歩通勤を続けたい。
- ・健康によく、運動不足解消につながる。(自転車、徒歩)
- ・ガソリン代が節約できる。
- ・環境に良い。(エコに意識を持つきっかけとなった。)
- ・徒歩や自転車は渋滞を気にしなくてよい。
- ・公共交通の時間に合わせることで、時間外勤務に区切りがつけやすかった。

○否定的な感想

- ・悪天候の時は不便。
- ・徒歩や自転車の通勤は天候にされやすい。
- ・徒歩通勤の帰り道は夜道が暗く不安であった。
- ・自転車の駐輪場が少ない。
- ・期間中にも様々な都合もあるので、実施期間を2週間ぐらいにしたほうがよい。

○参加理由

- ・運動不足解消に繋がるから。（徒歩、自転車）
- ・エコへの意識から。
- ・以前から自転車通勤を検討していたため。

○不参加理由

- ・通勤時間帯にバスが無かったため。
- ・自宅近くにバス停が無かったため。
- ・年度末の忙しい時期だから。（夏や秋の実施を希望）
- ・通勤途中や帰宅途中に子どもの送迎、通院等をする必要があるため。
- ・新型コロナウイルスが流行しているため、公共交通の利用を控えた。

○転換への課題

- ・家の近くにバス停がない。
- ・バスの本数が少なく、日常的に利用するには不便である。
- ・バスの最終便が早いため、業務多忙の時期は利用できない。
- ・通勤時間帯のバスが少ない、又は無い。
- ・到着時間が読めない。（バス）
- ・通常期間は、バス料金が安い。
- ・マイカー通勤より、通勤時間が長くなってしまい不便。
- ・歩道や自転車通行帯を整備する必要がある。
- ・自家用車所有率も高いので、利用促進を強化する必要がある。

3. 参加事業所（※公表不可の事業所は除く） 順不同

（株）協和エクシオ甲信支店

（株）早野組

甲府ビルサービス（株）

中日本高速道路（株）八王子支社 甲府保全サービスセンター

国立大学法人 山梨大学

山梨県歯科衛生専門学校

甲府市役所

都留市役所

大月市役所

笛吹市役所

中央市役所

市川三郷町役場

南部町役場

鳴沢村役場

甲府市立東小学校

山梨県立青少年センター

富士吉田警察署

山梨県庁